



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン

上場取引所 札

コード番号 9027 URL <https://www.loginet-japan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 橋本 潤美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画本部副本部長 (氏名) 久保田 優

TEL 011-251-7755

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,441	3.1	1,726	16.9	1,702	18.1	1,084	24.5
2023年3月期第2四半期	35,335	6.1	2,078	14.8	2,080	12.8	1,436	0.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,421百万円 (2.9%) 2023年3月期第2四半期 1,381百万円 (9.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	188.46	
2023年3月期第2四半期	249.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	35,260	19,984	56.0
2023年3月期	35,448	18,994	52.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 19,729百万円 2023年3月期 18,735百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		45.00		75.00	120.00
2024年3月期		60.00			
2024年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	4.3	3,550	5.6	3,500	7.8	2,170	15.1	377.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,010,681 株	2023年3月期	7,010,681 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,256,986 株	2023年3月期	1,256,986 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,753,695 株	2023年3月期2Q	5,753,835 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、コロナ禍からの社会経済活動が正常化した一方で、燃料価格の高止まりや輸送資材の仕入れ単価の高騰を中心にコスト負担が引き続き増加していることに加え、物価上昇による消費の伸び悩みに起因する物量の減少により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2022年度から2024年度までの3年間を対象期間とする「中期経営計画2022」に基づき、2023年4月より販売を開始した新輸送商品「DDロジ」の展開をはじめ、さくらスマイル引越事業の拡販やE C事業の拡大、九州エリアをはじめとした取り扱いエリアの拡大により営業収益目標の達成を目指すとともに、業務のIT化及び、車両適正配置など輸送体制の見直しによる生産性の向上に取り組んでまいりました。

当社グループは、2021年度より会社が奨学金返済を引き受ける、奨学金返済支援制度を導入することで、社員が生活基盤を安定させ、業務に専念できる環境づくりを行ってまいりましたが、様々な物価が高騰する昨今の情勢や、2024年問題を控え人手不足が懸念される状況であることを踏まえ、「中期経営計画2022」の当初基本方針を更に強化する内容として、2023年4月より、事業拡大を見据えたさらなる人財投資として、優秀な人財確保のための大卒初任給引き上げ（約15%増）や、社員の経済的負担軽減及び採用強化のための大幅な処遇改善を行っております。中でも、ドライバーについては最大15%程度の処遇改善を行ってまいりました。これにより必要なドライバーは十分確保できていると判断しております。この人財投資は「中期経営計画2022」策定時から社会情勢が大きく変化したことを踏まえて、基本方針では盛り込んでいなかった内容として追加したものであり、グループ人件費の約10%に相当する大きな投資になりますが、これまで増収増益を続けてきた当社グループの長期ビジョンの達成及びさらなる事業拡大への先行投資と位置づけ、非常に厳しい経営環境下での高い目標とはなりますが、「中期経営計画2022」の達成に向けて取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	35,335	36,441	1,105	3.1
営業利益 (百万円)	2,078	1,726	△351	△16.9
経常利益 (百万円)	2,080	1,702	△377	△18.1
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,436	1,084	△352	△24.5

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、物価上昇による消費マインドの低下などに起因する物量減の影響があったものの、大手取引先の取り扱い数量の増加や料金改定などにより、前年同期比11億5百万円増（+3.1%）の364億41百万円となりました。一方、営業利益は、増収による利益効果はあったものの、2023年4月より行っているグループ従業員の処遇改善による人件費の増加及び、その他既存取引先の物量減影響などにより、前年同期比3億51百万円減（△16.9%）の17億26百万円、経常利益は前年同期比3億77百万円減（△18.1%）の17億2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億52百万円減（△24.5%）の10億84百万円となりました。

地域別セグメントの業績は、以下のとおりです。

<北海道地区>

	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	10,034	10,363	328	3.3
セグメント利益 (百万円)	505	428	△76	△15.1

<東日本地区>

	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	16,749	16,494	△255	△1.5
セグメント利益 (百万円)	1,082	831	△250	△23.2

<西日本地区>

	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	7,377	7,990	612	8.3
セグメント利益 (百万円)	344	278	△65	△19.0

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から1億87百万円減少し、352億60百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の時価評価額が増加したものの、現金及び預金を借入金の圧縮に充当したためです。

また、負債は、借入金の圧縮により前連結会計年度末から11億77百万円減少し、152億76百万円となりました。これらの結果、純資産は199億84百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は、前連結会計年度末から3.1ポイント上昇し、56.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは15億19百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は18億37百万円の収入）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益16億94百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは8億14百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は5億61百万円の支出）となりました。主な要因は、ニーズに合わせた専用車両の取得や車両の代替えの推進にともなう有形固定資産の取得による支出7億19百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは16億53百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は8億11百万円の支出）となりました。主な要因は、借入金の返済によるものであります。

以上により、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は5億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億49百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、燃料価格の高止まりや輸送資材の高騰などによるコスト増加影響に加え、物価上昇による消費の伸び悩みに起因する物量の減少などにより厳しい状況が続くものと想定されます。

このような中、当第2四半期連結累計期間の業績及び、今後の見通しや事業環境を踏まえ、2023年5月9日に公表しました2024年3月期の通期業績予想を以下の通り修正することといたしました。

以下予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2024年3月期の連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,000	3,920	3,900	2,400	417.13
今回修正予想 (B)	76,000	3,550	3,500	2,170	377.15
増減額 (B－A)	△2,000	△370	△400	△230	△39.98
増減率 (%)	△2.6	△9.4	△10.3	△9.6	△9.6

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,518	569
受取手形	183	190
電子記録債権	601	589
営業未収入金及び売掛金	9,305	9,375
棚卸資産	97	115
その他	1,130	1,186
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	12,832	12,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,064	2,970
機械装置及び運搬具（純額）	8,255	8,279
土地	6,785	7,085
リース資産（純額）	73	72
その他（純額）	550	530
有形固定資産合計	18,730	18,938
無形固定資産	348	393
投資その他の資産		
投資有価証券	1,308	1,830
繰延税金資産	340	289
差入保証金	1,422	1,330
その他	554	543
貸倒引当金	△90	△89
投資その他の資産合計	3,536	3,904
固定資産合計	22,615	23,236
資産合計	35,448	35,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	8	—
電子記録債務	110	171
営業未払金及び買掛金	5,462	5,291
短期借入金	3,427	2,918
リース債務	50	44
未払法人税等	713	570
役員賞与引当金	93	—
その他	2,321	2,647
流動負債合計	12,189	11,644
固定負債		
長期借入金	3,394	2,681
リース債務	28	34
繰延税金負債	104	143
役員退職慰労引当金	280	304
退職給付に係る負債	279	297
資産除去債務	11	11
その他	165	158
固定負債合計	4,264	3,632
負債合計	16,453	15,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	592	592
利益剰余金	18,685	19,338
自己株式	△1,439	△1,439
株主資本合計	18,837	19,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△102	238
その他の包括利益累計額合計	△102	238
非支配株主持分	258	255
純資産合計	18,994	19,984
負債純資産合計	35,448	35,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	35,335	36,441
営業原価	31,825	33,041
営業総利益	3,510	3,400
販売費及び一般管理費	1,431	1,673
営業利益	2,078	1,726
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	40	34
寮収入	31	33
受取補償金	4	—
その他	50	51
営業外収益合計	127	120
営業外費用		
支払利息	28	18
寮支出	70	72
車両除売却損	20	37
その他	6	14
営業外費用合計	125	143
経常利益	2,080	1,702
特別利益		
固定資産売却益	38	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	38	0
特別損失		
固定資産除売却損	53	8
特別損失合計	53	8
税金等調整前四半期純利益	2,065	1,694
法人税、住民税及び事業税	570	606
法人税等調整額	61	7
法人税等合計	632	613
四半期純利益	1,433	1,080
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,436	1,084

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,433	1,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	340
その他の包括利益合計	△51	340
四半期包括利益	1,381	1,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,384	1,425
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,065	1,694
減価償却費	989	927
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△66	△93
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17	17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9	24
受取利息及び受取配当金	△41	△34
支払利息	28	18
有形固定資産売却損益 (△は益)	△43	△2
有形固定資産除却損	73	46
売上債権の増減額 (△は増加)	△730	△56
未収入金の増減額 (△は増加)	△138	△107
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15	△17
仕入債務の増減額 (△は減少)	282	△118
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△93	△229
未払金の増減額 (△は減少)	△87	127
その他	37	△29
小計	2,286	2,164
利息及び配当金の受取額	41	34
利息の支払額	△28	△18
法人税等の還付額	198	86
法人税等の支払額	△661	△748
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,837	1,519
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△649	△719
有形固定資産の売却による収入	84	17
有形固定資産の除却による支出	△40	△2
無形固定資産の取得による支出	△53	△103
投資有価証券の取得による支出	△4	△100
投資有価証券の売却による収入	—	7
関係会社株式の取得による支出	—	△4
貸付けによる支出	△3	△1
貸付金の回収による収入	2	3
差入保証金の差入による支出	△13	△14
差入保証金の回収による収入	122	106
出資金の回収による収入	0	—
その他の支出	△5	△3
その他の収入	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△561	△814
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70	△588
長期借入れによる収入	650	—
長期借入金の返済による支出	△882	△633
リース債務の返済による支出	△47	△0
配当金の支払額	△460	△431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△811	△1,653
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	464	△949
現金及び現金同等物の期首残高	620	1,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,085	568

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	10,034	16,749	7,377	34,162	1,165	35,327
その他の収益	—	—	—	—	7	7
外部顧客への営業収益	10,034	16,749	7,377	34,162	1,172	35,335
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,646	374	235	3,255	1,932	5,188
計	12,681	17,123	7,613	37,418	3,105	40,523
セグメント利益	505	1,082	344	1,932	819	2,752

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は682百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,932
「その他」の区分の利益	819
受取配当金の消去	△682
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	2,078

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	10,363	16,494	7,990	34,848	1,585	36,433
その他の収益	—	—	—	—	7	7
外部顧客への営業収益	10,363	16,494	7,990	34,848	1,592	36,441
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,587	374	242	3,204	2,296	5,501
計	12,950	16,869	8,233	38,052	3,889	41,942
セグメント利益	428	831	278	1,539	1,039	2,579

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は871百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,539
「その他」の区分の利益	1,039
受取配当金の消去	△871
その他の調整額	19
四半期連結損益計算書の営業利益	1,726